

(様式2)

議長	局長	課長	補佐	係長	係
森田	谷山	迫田	本村	中西	竹下



令和元年6月14日

始良市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名

公明党始良市議団
竹下 日出志



調 査 研 究 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程
令和元年5月23日(木)
- 2 場所
日置市役所(鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地)
- 3 目的
健康モデル都市プロジェクト事業について調査研究
- 4 該当する政務活動費の用途項目
調査研究費(交通費)
- 5 支出経費の内訳と金額
1,480円(旅費:JR乗車券)
- 6 参加議員名
新福愛子
- 7 活動成果の概要、所見
別紙のとおり
- 8 成果物、資料等
別添のとおり
① 行政視察資料 ② 「りんご教室」チラシ
② パンフレット:「Tバランス健康食」が食べられるお店

領 収 書 №025466

新 福 愛 子 様

ご利用金額 ￥740- (現金利用)
上記の金額を領収しました。

購入商品 JR乗車券類

年月日 2019年 5月23日

九州旅客鉄道株式会社
伊集院駅 POS002 発行

領収書

新 福 愛 子 様

ご利用日付 2019年-5月23日

時刻 14時07分

券番号: 8157

取引内容: 乗車券類 金740円

伝票番号: 30581

●ご利用ありがとうございます。

伊集院駅 券182発行

九州旅客鉄道株式会社

○行程表

1 年令和 5 月 2 3 日（木）

錦江駅発 1 3 : 2 2 ⇒ 1 4 : 1 1 伊集院駅着

日置市役所着 1 4 : 3 0 1 5 : 0 0 ~ 研修 日置市役所発 1 7 : 0 0

伊集院駅発 1 7 : 2 5 ⇒ 1 8 : 4 2 錦江駅着

7 活動成果の概要、所見

【調査内容】

健康モデル都市プロジェクト事業について調査

【調査項目】 日置市「健康モデル都市プロジェクト」

事業名	日置市健康モデル都市プロジェクト	担当部課名	健康保険課
補助事業名	地方創生推進交付金（国庫）	事業開始年度	平成 2 9 年度
目 的	市民に対し、栄養・運動・精神といった健康に係わる要素を組み合わせた体験型健康医学教室を実施し、適切な食事・運動・ストレス緩和の実践力を高め、体験を通じた健康行動が生活の中に定着することを目指すとともに、健康増進意識向上や健康意識をもって実践する市民の増加により、健康ブームを作り、市全体が健康で安心して生活することができるまちを実現する。		

（参加者の主な声）

- ・体の動きが良くなった ・足に痛みがあったが運動を続けることで楽になった
- ・筋肉が付き出したので坂道でもスピードを落ちず歩幅が広がった
- ・歩いて、ご飯の量を減らしても痩せなかった理由がわかった
- ・少々歩いても苦にならなくなった
- ・食事に気を付け食品成分表を注意するようになった
- ・骨化症で首回りが固まり腕の動きが悪かったが、背筋を緩めることによって動きがよくなった ・腹部まわりが、すっきりしてきた
- ・家事が苦痛でなくなった
- ・腰痛や肩こりが早めの対応でよくなった
- ・食事の量がわかりやすく食べ過ぎに注意するようになった
- ・毎日楽しく生きていくことが大事だと実感した
- ・がんばれば効果が出ることを学んだ
- ・健康のためには学ぶことが大事と理解した
- ・汗をかきやすくなった ・老化について学べた
- ・成長ホルモンを出すことを意識して筋トレや散歩をすると満足感が違う
- ・今までストレスと健康の因果関係を疑問に思っていたが理解できて充実してきた
- ・細胞レベルで健康づくりを考えることができた

(りんご教室風景)



所見

○ 国保事業において過去にペナルティーを受けていた同市は、市長の決断により、特定健診受診率のアップ等、健康増進に対し全庁的取組を行い、県内最下位から県内トップに躍り出た。地方創生推進交付金によるこの事業は、市長の肝いり事業として取り組みられ、市民版体験型健康医学教室(りんご教室・フォローアップ教室)、企業版体験型健康医学教室(りんご教室)、Tバランス健康食認定事業が実施された。

市民が健康について学び・理解し・実践する中で健康づくりの意識を大きく変え、生活習慣等を見直すきっかけとなり、学んだことを継続し実践することで「自分の健康は自分で守る」という理念が受講された市民一人ひとりに定着し、まちづくりへと連動ながら地方創生事業としての目標を達成されつつあることが認識できた。

○ 生産者・栄養士・医師が連携しつながっていくイメージ「T」を模した「Tバランス健康食認定事業」は、市内の飲食店で提供されている既存のメニュー等から生活習慣病等の予防を目的とした健康食メニューに改善し、Tバランス健康食として市が認定され「Tバランス健康食が食べられるお店」としてパンフレットも政策されている。これにより、地元食材生産者である農家の生産意欲・飲食店の経営意欲もアップ、そして市民(食する人)も健康になる。いわゆるWinWinの関係がまちの姿になっていることも認識できた。

○ このプロジェクト事業は今年度で終了するが、今後の展開についてはこれからといった状況である。フォローアップ教室から「りんご教室」を広める地域の健康リーダーや教師志望者の創出。また3年間の事業と今後の取組が、市の医療費削減へ連動していくか、まさに持続可能な開発が日置市の次なる課題と感じた。

○ 「第2次始良市総合計画」における健康部門では、「誰もが安心していきいきと生きる」を目標としている。心身両面での健康の保持と増進を図りながら「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を目指す本市にとって、日置市の先進事例は間違いなく手本となる。本市での取組を期待したい。